

部署名	法人本部	事務局長	清水 広好
-----	------	------	-------

上田しいのみ会

1 昨年度の重点事業計画と達成度

事業計画	①	陽だまりの家事業の廃止とヘルパーステーション事業の休止について	①	この数年間検討を重ね、これ以上の事業継続はできないとの結論になった。大幅な赤字が3期連続で続き上田しいのみ会他事業への影響が大となってきたこと、ご利用者ニーズが減少していること、職員の高齢化と人材の確保が困難なこと、等の理由による。
	②	新型コロナウイルスの感染予防の継続とワクチン接種の推進	②	基本的な新型コロナウイルス感染予防対策を継続しながら、3回のワクチン接種をスムーズに実施することが出来た。(高齢者・障がい者施設のご利用者／高齢者・障がい者施設の職員)
	③	社会福祉事業のICT化への対応	③	高齢者事業でICT設備として新たにPCソフト・タブレットを導入した。障がい者事業でもPCソフトの再稼働を図った。又障がい者事業2施設で、勤怠管理システムの完全導入化が図れた。各施設でリモートでのご利用者の面会や職員研修オンライン化を図った。
	④	計画的な職員採用の強化<<優秀な人材を求めて>>	④	質の高い、新卒者の採用・中途入職者の採用につき、コロナ禍で十分な活動が出来ない中でも、必要な水準を保持した。又特養にインドネシア人技能実習生の受入がスムーズに出来ている。実習生を受け入れ、施設内の活気や職員の士気向上につながった。

2 昨年度実施した施設整備工事・整備設備等

0 千円

昨年度の修繕費合計 1 万円 固定資産取得費合計 634 千円(職員寮駐輪場整備、診療所エアコン入替等)

3 主な活動・実績等

①	<p>&lt;&lt;陽だまりの家事業の廃止とヘルパーステーション事業の休止について&gt;&gt; :</p> <p>様々な対策を講じても3期連続で赤字となり、これ以上の事業継続は上田しいのみ会の他の事業にも影響を及ぼし兼ねず、赤字を出し続けることはできないこと、ご利用者ニーズも減少していること、職員の高年齢化と人材不足で職員の配置維持が困難なこと、等の要因により、12月役員会で最終決定となった。</p>
②	<p>&lt;&lt;新型コロナウイルス感染予防の継続とワクチン接種の推進&gt;&gt; :</p> <p>(1)新型コロナウイルス感染症対策について : まん延防止条例及び上田地域の警戒レベルを参考に、各施設の状況を確認しながら対応策を話し合った。ご利用者への面会制限や、職員に自宅待機を命ずる等適宜対応を図った結果、各施設内で感染が蔓延することなく現在に至っている。</p> <p>(2)ワクチン接種について: 泉ドクターのご尽力で各施設ご利用者・職員に3回のワクチン接種を実施出来た。</p>
③	<p>&lt;&lt;社会福祉事業のICT化への対応&gt;&gt; :</p> <p>高齢者事業で、コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金を活用しICT設備を導入した。5月に介護保険ソフトの追加とタブレット端末を導入し、8月から本格的に稼働した。日誌・ケース記録等の電子化が図れ、記録作成業務を省力化した。障がい者事業でも、既に導入していたソフトを再稼働して活用し、PCを使用した同様のシステムを再構築した。尚、障がい者事業では、勤怠管理システムの導入を拡大し、2施設でタイムレコーダーからカードシステム方式に移行した。その他ご利用者の面会・職員研修等オンライン化を図った。</p>
④	<p>&lt;&lt;計画的な職員採用の強化【優秀な人材を求めて】&gt;&gt; :</p> <p>令和3年度新卒者採用職員は、大学出身者1名、短大出身者2名、専門学校出身者1名、高校出身者2名の計6名(女性6名)。中途採用者は7名(定着者)。次年度(令和4年度4月から入職)の内定職員は、大学出身者2名、短大出身者2名の計4名(男性1名、女性3名)。コロナ禍で『就職説明会』等へ参加し、従来からの信頼関係を頼りに各学校就職担当者とコンタクトを図ったことが功を奏した。尚、高齢者施設に受入れたインドネシア人介護技能実習生4名につき、その純粋な働きぶりに触発され施設内の雰囲気明るくなり職員が大いに啓発された。4名とも日本語検定N3を取得し、一人前の働き手となっている。次年度受け入れの2名にも期待したい。</p>

4 その他 報告事項

①	<p>&lt;&lt;川西地域包括支援センター及び介護・福祉相談センターかわにし/室賀診療所の状況&gt;&gt;</p> <p>☆川西地域包括支援センター及び介護・福祉相談センターかわにしの状況・・・令和2年6月1日の移転後、訪問相談者や電話相談者が増え、予想以上の地域貢献につながった。関係職員は尚一層業務多忙に見舞われている。</p> <p>☆嘱託医の交代と室賀診療所の再開の状況・・・嘱託医が植松ドクターから泉ドクターへスムーズに移行がなされ、法人内各施設ですっかり定着した。念願だった室賀診療所の再稼働ができ、法人として地域医療の社会貢献も出来た。外来者によるワクチン接種にも希望者が訪れている。</p>
②	<p>&lt;&lt;新たな処遇改善事業への対応&gt;&gt;</p> <p>☆令和3年12月に通知、令和4年2月から支給開始、であったが思いのほか検討時間がかかり、3月に2月・3月分の2か月分を支給することで対応した。障がい者事業と高齢者事業、入所事業と在宅事業との格差があり、法人全体で統一的な給付は困難な制度だが何とか対応を図った。今回は給与規程細則による一時的な対応を図ったが、今後継続した制度になるかどうかを見極め、10月以降正式に給与規程を改定する方向で必要な整備をする。</p>
③	<p>&lt;&lt;旧泉久雄氏所有土地の売却について&gt;&gt;</p> <p>☆故泉久雄氏は長年上田しいのみ園をご利用され最期は室賀の里でご逝去された。上田市内岡地区の所有土地物件につき、縁故者がなく更に古い抵当権が付されていたため、裁判所に申し立てをして上田しいのみ会が特別縁故者で当土地物件の所有権を取得し、抵当権解除も行った。現在岡地区自治会で駐車場に有効利用の希望があり、土地売却交渉を進めている。自治会では土地所有は出来ないため、関係者個人で土地を購入希望者があり、今後契約を取り交わすことになっている。</p>

施設名	上田しいのみ園	施設長	佐藤 淳一
-----	---------	-----	-------

上田しいのみ会

1 重点事業計画と達成度

事業計画	① 新型コロナウイルス感染症対策	達成度	① 昨年から引き続き、感染予防対策を徹底し、流行拡大期には外出や面会の制限などご利用者に負担をお掛けすることもありましたが、ここまで感染者なく過ごされています。希望するご利用者、職員については3回のワクチン接種も終了しています。引き続き感染予防に努めてまいります。
	② 日中活動の充実		② 生産活動は室賀の里の清拭たたみは年間通じて安定した受注がありました。他の作業については時期によって受注数に波がありました。季節に合わせたレクリエーション等の活動も行うことができ、コロナ感染予防の中で工夫をしながらの活動になりました。

2 ご利用者状況 ( R3年度末 令和4年3月31日現在 )

(1)生活介護及び施設入所支援利用者

①	施設入所支援定員	定員	40名	現員	38名	年間入院・外泊日数	442 日
②	施設入所支援性別	男性	26名	女性	12名		
③	平均年齢	男性	63.7歳	女性	64.3歳	全体	63.8歳
④	年度内入退所	退所	3名	入所	1名		

(2)生活介護利用者

①	生活介護登録人員	男性	8名	女性	6名	全体	14名
②	平均年齢	男性	45.5歳	女性	51.5歳	全体	48.1歳
③	新規登録者	男性	0名	女性	0名	解除	3名

(3)障害支援区分

区分	6	5	4	3	2	平均
入所支援	7	19	10	1	1	4.8
生活介護	6	2	5	1	0	4.9

(4)短期入所利用者

定員	2 名
短期入所の年間利用率	58%

3 実施した施設整備工事・整備設備等 (1件 100万円以上のもの)

① 特になし

4 修繕費合計 145 万円 固定資産取得費合計 473 万円

冷蔵庫修理・非常用発電設備修理・トイレ関係修理等

車両1台・2階空調機1台・3Mベッド1台・通所利用者用パソコン等

5 主な活動・実績等

①	令和3年度は障害福祉サービス等報酬改定がありましたが、改定による収入状況に大きな影響はなく、自立支援費収入は昨年と比べて約890万円の増収となりました。コロナ禍による通所や短期入所の利用控えや新規入所の調整に苦慮はしましたが、利用者の重度化による障害支援区分の変更や夜勤体制加算の取得ができたことが大きかったと思います。
②	コロナ禍により外出などに制限はありましたが、その分施設内での活動や食事を充実できるようにしました。具体的には施設内でできる様々な行事を行ったり、食事では希望献立、行事食・歳時食の提供、日本、世界各地の料理の提供や様々なバイキングなど、ご利用者に楽しんでいただけるような試みを実施しました。

6 その他 報告事項

特にありません。

施設名	相談支援事業所 椎の実	施設長	細川 裕夫
-----	-------------	-----	-------

上田しいのみ会

1 令和3年度の重点事業計画と達成度

事業計画	① 法人内障がい者支援施設利用児者の相談支援を拡充します。	達成度	① 上田しいのみ園、しいのみ療護園、つむぎの家ご利用の方々の計画相談は予定通りに行うことができました。
	② 在宅利用児・者の計画相談にあたりサービス事業所との連携を図ります。		② 在宅サービス利用児・者については事業所と連携を取りながらの計画相談を行いました。新規サービス利用の希望もあり調整しました。
	③ 重症利用児のショート及び緊急一時支援ニーズへの対応のため法人の障がい者支援施設との連携を強化し受け入れに協力します。		③ 利用人数は少なめですが、計画通りに取り組むことができました。
	④		④
	⑤		⑤

2 令和3年度のご利用者状況 (令和4年3月31日現在)

(1) 指定特定相談支援事業利用者

① 利用登録者	67名	(うち施設利用者	47名)
② 男性	44名	女性	23名
③ 平均年齢	男性 58.6歳	女性 58.0歳	全体 58.4歳
④ 年度内利用解除者	4名	年度内新規利用者	2名

(2) 障害児支援事業利用児

① 利用登録児	2名				
② 男性	1名	女性	1名		
③ 平均年齢	男性 17.0歳	女性 10.0歳	全体 13.5歳		
④ 年度内利用契約解除児	0名	年度内新規利用児	0名	継続基本相談支援利用児	2名

(3) 一般相談支援事業利用者

① 利用登録者	0名	地域移行・地域定着	0名		
② 男性	0名	女性	0名		
③ 平均年齢	男性 歳	女性 歳	全体 歳		
④ 年度内利用契約解除者	0名	年度内新規利用者	0名	継続基本相談支援利用者	0名

(4) 障害支援区分

① 指定特定相談支援利用者

障害支援区分	非該当: 3名	区分2: 1名	区分3: 5名	区分4: 17名	区分5: 23名	区分6: 18名
--------	---------	---------	---------	----------	----------	----------

② 障害種別

身体障害: 64名	知的障害: 0名	精神障害: 3名	重症児: 2名	利用児者総数: 69名
-----------	----------	----------	---------	-------------

3 主な活動・実績等

今年度は登録利用児・者は上記のとおり総数69名でした。内訳は施設入所者47名及び在宅生活者22名(内児童2名)となっています。ご利用者の高齢化や心身状態の機能低下が見られ、施設入所されていた方で3名が亡くなり、1名が長期入院のため、登録解除になっています。新しくサービス利用に向けて調整が必要なケースが数件ありました。

施設名	上田市つむぎの家	施設長	細川 裕夫
-----	----------	-----	-------

上田しいのみ会

1 重点事業計画と達成度

①	聞き取りや満足度調査をもとに、ご利用者・ご家族のニーズにさらに対応できる支援体制を図ります。	達成度	①	個別の聞き取りや満足度調査の他、家族会役員と話し合いの場を持ち、要望を聞くことにより、良質なサービス提供に努め、概ね達成することができました。
②	上田しいのみ園との日常的な職員及び利用者の交流を強化し一体的な運営を図ります。		②	コロナ感染対策を行い、状況を見ながら交流を行いました。が、行事などは難しさもありました。
③	コロナウイルス感染予防対応をしながらも、工夫をして楽しみの機会(創作活動・音楽療法など)をこれまで以上に増やして提供していきます。		③	手や指を使ってちぎり絵やスタンプ絵などの製作や月2回音楽レクを行い、季節の歌や楽器演奏、カラオケなどの幅広く活動を行うことができました。
④	建替え課題や事業内容・定員等の見直し等を上田市、法人及び利用児者、保護者、家族会、関係機関と具体的な計画協議を図っていきます。		④	上田市と継続して協議し情報共有をしていますが、コロナ感染対策もあり、具体的に課題解決に向けての見通しは立っていません。
⑤			⑤	

2 ご利用者・児状況

(令和4年3月31日現在)

(1) 生活介護事業利用者

①利用定員【5人】	利用登録者【10人】	{男性:7人、女性:3人}	平均利用率(4.4人/日)
②平均年齢【26.6歳】	{男性:28.4歳、女性:22.3歳}		平均在園期間(14年4ヶ月)
③入・退園状況	入園(1人)	移行[放デイより](1人)	退園(0人)

(2) 放課後デイサービス事業利用学童

①利用定員【5人】	利用登録者【5人】	{男性:3人、女性:2人}	平均利用率(1.3人/日)
②平均年齢【13.2歳】	{男性:15.3歳、女性:10歳}		平均在園期間(4年7カ月)
③入・退園状況	入園(0人)	退園(1人)	生活介護へ移行

(3) 児童発達支援事業

①利用定員【5人】	利用登録者【0人】	{男性:人、女性:人}	平均利用率(人/日)
②平均年齢【歳】	{男性:歳 女性:歳}		平均在園期間(月)
③入・退園状況	入園(人)	退園(人)	

3 主な活動・実績等

1. 設備・修繕等実施事業

①特に大きな修繕等はありませんでした。

2. 運営・活動状況

- ①本年度の生活介護事業は養護学校を卒業された方1名が放課後等デイサービスより移行され、登録が10名になりました。各曜日登録がほぼ埋まっており(定員オーバーの日もあり)、養護学校卒業後の居場所についての課題が出てきています。
- ②放課後等デイサービスは利用児5名の登録があり、土曜日、長期休みを主に利用していただいています。コロナウイルス感染予防のため養護学校が分散登校の際には平日日中利用される方もいらっしゃいました。
- ③コロナ感染予防対策の中、例年通りの行事やしいのみ園との交流は難しさがありました。外出などは実施せず、施設内でできる行事・活動を工夫して行いました。
- ④つむぎ便りを毎月発行し、コロナ感染対応なども含め、つむぎの家のご利用者の様子について情報提供を行いました。

# 令和3年度 事業報告

資料- 5

上田しいのみ会

施設名	しいのみ療護園	施設長	中條 孝
-----	---------	-----	------

## 1 重点事業計画と達成度

事業計画	①	地域及び行政機関との連携を図り、情報及び利用者の確保を重点に安定した運営を行う。	達成度	①	退所者が多く、新規入所に時間がかかったことで利用率は昨年と比べ大きく下がりました。
	②	職員のスキルアップ研修を継続的に行い、専門職としての知識、介護技術の習得を目指し、施設サービスの質の向上に努めるとともに、次世代を担っていく中心の人材の育成を積極的に行う。		②	感染症の関係で、オンラインを活用した研修が増え、計画どおりの参加ができなかった。
	③	感染症等の対策を徹底し、利用者及び職員の健康管理に努め、安心・安全な事業継続に向けた対応を行う。		③	ワクチン接種、防止対策等を重点に施設内感染を防ぎました。

## 2 ご利用者状況 (令和4年3月31日現在)

① 入所定員 50名 入所現員 48名 ② 退所者 7名 入所者 6名

③ 男性 29名 女性 19名

④ 平均年齢 男性 56.6歳 女性 57.5歳 全体 56.9歳

⑤ 障害程度 (障害者施設)

障害支援区分	6	36	名	重 ↑ ↓ 軽
	5	9	名	
	4	3	名	
	3	0	名	
	2	0	名	
	1	0	名	

⑥ 年間利用率  
 生活介護 89.2 %  
 施設入所支援 90.3 %  
 短期入所 6.2 % 定員 2名 (内緊急対応1名)

## 3 施設整備工事・整備設備等 (金額が大きい上位3件)

① 厨房内業務用冷凍冷蔵庫1台 64万円  
 ② 厨房内業務用冷蔵庫 42万円  
 ③ 自動ドア開閉装置修繕 40万円

4 修繕費合計 276万円 固定資産取得費合計 206万円

## 5 主な活動・実績等

①	新型コロナウイルス感染症の防止対策を重点に、3回のワクチン接種、行事の縮小、研修、会議等の中止、外出、面会の規制を行うなどの対策を行い、施設内感染を防ぎました。
②	短期入所においては地域生活支援拠点に関わる緊急ショートステイ業務を担う事業所として委託を受け、年間を通して1床の受入、対応を確保しました。
③	職員に関しては資格取得(介護福祉士4名、実務者研修1名、喀痰吸引従事者1名、社会福祉主事任用資格1名、初任者研修1名)及びオンラインを活用して外部研修を行い、専門的知識の習得を進めました。

## 6 その他 報告事項

--

施設名	特別養護老人ホーム 室賀の里	施設長	村上 恒夫
-----	----------------	-----	-------

上田しいのみ会

1 重点事業計画と達成度

事業計画	① (特養) 徹底したコロナ対策、業務改善のすすめ、新人教育方法の工夫と効果アップ、経費の削減、収入の確保、インドネシア実習生のスキルアップ	達成度	① コロナの施設内感染は未発生で済んでいます。業務改善ではタブレット利用の記録や2リビング制の定着がはかれ、実習生はN3に4人とも合格しました
	② デイ) コロナ対策の徹底、稼働率のアップ、業務改善		② コロナの施設内感染は未発生でした。稼働率は徐々にアップするも、目標まではあと1日あたり2人~4人がほしいところです。タブレットでの電子化記録は進みました
	③ (いきいき介護センター) 新規開所のしいのみ会相談センターかわにしとの連携と各事業所・医療機関との連携を密にしケアプラン件数の増加に努める		③ 相談センターとの連携は密になり新規プランも増え月100件を超える状況で推移できました

2 ご利用者状況 (令和4年3月31日現在)

① 入所定員 68 名 入所現員 67 名 年間利用率 96.1%

② 男性 11 名 女性 57 名

③ 平均年齢 男性 86.6 歳 女性 91.4 歳 全体 90.6 歳

④ 年度内退所者 18 名 年度内入所者 18 名

⑤	要介護度状況 (高齢者施設)	要介護	男	女	計(人)	割合	重 ↑ ↓ 軽	*平均要介護度	
		5	6	24	30	45%			男性 4.45
		4	4	22	26	39%			女性 4.25
		3	1	10	11	16%			全体 4.28
		2		0	0	0%			
		1	0	0	0	0%			
	合計		11	56	67	100%			

⑥ 短期入所の年間利用率 81.6 % 定員 12 名

3 施設整備工事・整備設備等 (金額が大きい上位3件)

① 介護保険ソフトほのぼの記録システム 特養 281 万円

② 同上 デイサービス 88 万円

③ 防犯カメラ7台設置工事 169 万円

4 修繕費合計 165 万円 固定資産取得費合計 604 万円

5 主な活動・実績等

①	コロナ禍が長引き、ご家族の面会制限やボランティア・交流会の中止、全体会議の中止など様々な面で影響がありました。特に面会制限はご利用者・ご家族の絆を細くすることになり認知症が進んだり、ご家族の気持ちが沈んだりマイナス面が多かったです。それを少しでも補うためタブレット利用の面会やガラス越しの面会を行うとともに、施設からの写真付きお便りを1か月半に一度お送りしました。幸い施設内での感染は年度中防ぐことができておりますが、今後も感染予防を徹底していきます。
②	リビング体制を大幅に変更し、5リビングを2リビングにしました。リビング名は「楽」(たの)と「和」(なごみ)とし、40名ずつの2つのリビングに担当職員を配置しました。結果40名のご利用者の介護方法を覚えれば良いため、新人の研修も早く進み、またリビングに介護職員が1人のみという場面もほとんど無くなったため、慣れない職員の不安感の払拭にも効果的でした。また、夜勤も3人で80人をフォローしていましたが4人夜勤とし、2人が40人をフォローする形になり、かなり負担軽減になりました。また業務改善としてタブレット利用の記録提出を進めた結果記録記入も効率よくなり、業務の効率化を進めることができました。
③	インドネシアの介護実習生4名はすっかりなじみ、明るい笑顔と礼儀正しさに職場に絶大な効果をもたらしてくれています。日本語も職員が定期レクチャーを行い、全員がN3というワンランク上の検定に合格いたしました。さらに上のN2検定を目指したいと全員が前向きです。次年度は2期生2名が着任する予定で、新しい寮を整備する必要があり、準備を進めていきます。

6 その他 報告事項

デイサービス・ショートステイ でコロナ禍による利用控えやお休みがあり、営業的努力によりご利用率のアップを図るも計画達成には至りませんでした。ただし特にデイサービスでのご利用者を増やす努力が実りつつあり、今後コロナ禍が終息していけば期待が持てると考えております。インドネシアの2期実習生2名の採用を決め、6月には着任の見通しが立ちました。良い効果がさらに期待されます。

# 令和3年度 事業報告

資料- 6-2

上田しいのみ会

施設名	陽だまりの家(小規模多機能) 室賀の里ヘルパーステーション	施設長	細川 裕夫
-----	----------------------------------	-----	-------

【陽だまりの家】 職員10名(正2、嘱4、パ4)

## 1 重点事業計画と達成度

事業計画	<p>在宅生活が継続できるように、家庭的な雰囲気のある小規模な居住空間で、馴染みのある職員がサービスを提供します。認知症がある高齢者にも環境変化をなるべく避け、落ち着いて安心できる場を提供し、穏やかに過ごしてもらえよう心掛けます。</p> <p>また、事業の継続性を確保するため、関係機関と連携して適正な利用者数の確保を目指します。</p>	達成度	<p>食事や行事の飾り等できる限り手作りで提供し、施設が利用者にとって家庭的で落ち着いた居住空間となるように心掛けました。利用者の状態に応じた個別プランを作成し、安心して過ごしていただけるようにしました。</p> <p>利用者の確保については、入所系の施設が地域で乱立する中で、有効な対応策をとることができませんでした。</p>
------	--	-----	--

## 2 ご利用者状況 (3月現在)

- ① 年間登録者 延べ149人→137人 月平均 11.4人(46%)
- ② 利用者平均介護度 男性1.0→2.0 女性2.5→4.5 利用者平均3.7
- ③ 通い 延べ1,696人→1,562人 泊まり 712人→625人 訪問 301人→786人
- ④ 平均年齢 男性79.2歳→82.0歳 女性85.7歳→95.0歳 全員85.3歳→88.5歳

## 3 主な活動・実績等

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規登録者及び再開者は年間7人でした。中止者は年間22人になりますが、このうち11人は事業の廃止決定後に他サービスへの移行をお願いした皆さんです。年間の延べ利用者数の減少は12人でした。</li> <li>年明け以降は、介護難民を作らないために他施設への早期のサービス移行を心掛けました。本人やご家族の希望で、3月31日まで利用された方が3人いらっしゃいましたが、4月1日からは他サービスに確実に移行されました。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防訓練は2回計画しましたが、外部の皆さんにも参加して頂き実施していた第2回目の訓練は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により中止としました。運営推進会議についても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、6回中4回を中止としました。</li> <li>また新型コロナウイルス感染予防のため、季節の外出行事や個別外出レク、地域との交流等は、昨年に引き続き全て中止としました。</li> </ul>
③	<ul style="list-style-type: none"> <li>陽だまりの家事業の廃止決定を受け、1月より本人及び家族の意向を確認し、他の介護サービスへの移行を準備。3/31まで利用された3名の方を含め、全員他の介護サービスに移行していただきました。</li> </ul>

【室賀の里ヘルパーステーション】 職員2名(嘱2) 登録ヘルパー 5名

## 1 重点事業計画と達成度

事業計画	<p>住み慣れた自宅生活継続のため、ニーズを正しく理解し、利用者の視点に立ったきめ細やかなサービス提供に心掛けていきます。認知症を正しく理解し穏やかな生活ができるよう支援するとともに、感染症に関する知識を深め、利用者の安全に配慮した支援に努めます。</p> <p>また事業の継続性を確保するため、関係機関と連携して適正な利用者数の確保を目指します。</p>	達成度	<p>利用者ニーズの把握に努め、利用者や家族の皆様に喜んでいただけるサービス提供ができました。新規利用者は介護予防を含め5件受け入れましたが、終了された方は死亡や自宅での生活ができなくなったの入院・施設入所等により14件あり、事業継続のための利用者確保はできませんでした。</p>
------	--	-----	--

## 2 主な活動・実績等

①	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヘルパー連絡会議を毎月1回(年12回)開催、高齢者に多い疾患や体調の変化、転倒事故の防止、接遇マナー等について研修を行った他、職員の体調管理や事故防止についても学びました。</li> <li>合計訪問回数は2,418回(介護予防を含む) 1日平均は6.6件でした。</li> </ul>
②	<ul style="list-style-type: none"> <li>室賀の里ヘルパーステーション事業の廃止決定を受け、1月より利用者宅を訪問して意向を確認。3月末まで訪問サービスを継続し、4月より全員他の介護サービスに移行していただきました。</li> </ul>
③	

# 令和3年度 事業報告

資料- 6-3

上田しいのみ会

施設名	川西地域包括支援センター 相談センターかわにし	施設長	村上 恒夫
-----	----------------------------	-----	-------

## 【川西地域包括支援センター】 職員6名(正2、嘱2、パート2)

### 1 重点事業計画と達成度

事業計画	高齢者の介護予防、介護、福祉、保健、医療などの相談窓口としてあらゆる相談に対応する。実態把握や集まりに参加し、支援が必要な方の発見、ニーズの把握に努める。	達成度	新事務所へ移りまもなく2年を迎えるに当たり、センターの認知度は更に高まったと感じている。来所相談は旧事務所にいた頃の約4倍となり、電話相談や訪問相談の件数も増加している。引き続き、地域の高齢者のための『よろず相談所』としての機能を果たすよう努めていく。
------	---	-----	--

### 2 主な活動・実績等

①	<p>○介護予防・日常生活支援総合事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援・事業対象者ケアプラン作成:1,364件</li> <li>・介護予防サービスプラン:1,296件</li> <li>・地域リハビリテーション:26会場</li> <li>・ホームページで包括からの情報や活動の写真をアップ</li> <li>・川西有線と連携し毎朝のラジオ体操が定着した。</li> </ul> <p>※地域リハは新たに1会場が立ち上がったが、コロナ警戒レベルの上昇と共に活動自粛に追い込まれる団体が多かった。 ※健康推進課および高齢者介護課と連携し、『高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施』モデル事業に取り組んだ。</p>
②	<p>○地域福祉推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症サポーター養成講座:4回、オレンジカフェ『ひなたぼっこ』:6回(参加者のべ82名)、ワンコイン出前講座:18回</li> </ul> <p>※自治会ごとに行なう会食会や敬老会、人権懇談会など事前の職員派遣依頼はあったが、全て中止となった。 ・川西公民館(小泉分館)より依頼あり、『コロナ自粛とフレイル』について山浦堂薬局とともに講演。コロナフレイル予防啓発活動を行なった。</p>
③	<p>○総合相談支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談 実人数:1,974人(来所相談:410件)</li> <li>・実態把握:214件</li> <li>・防火訪問は川辺、川西地区とも中止</li> <li>・孤独死:3件</li> </ul> <p>○ネットワーク構築</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケア会議:1回</li> <li>・包括だよりの自治会回覧:4回</li> <li>・民児協参加:2か所</li> <li>・まちづくり組織:2か所</li> </ul> <p>○権利擁護業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者虐待コアメンバー会議1回</li> <li>・特殊詐欺等防止パンフレットを関係機関、居宅介護支援事業所などに配付:36件</li> <li>・上小圏域成年後見センターとの懇談会:1回</li> <li>・特殊詐欺被害相談:1件</li> </ul> <p>○包括的継続的ケアマネジメント業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談、退院カンファレンスへの参加</li> <li>・ケアマネ指導助言:10回</li> <li>・居宅介護支援事業所への予防プラン一部委託:40件</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症見守りネットワーク事業:11名登録(新規3名)</li> <li>・実習生の受け入れ:長野大学2名(24日間)、信州上田医療センター看護学校4名(4日間)</li> </ul>

## 【相談センターかわにし】

職員1名(嘱1)

### 1 重点事業計画と達成度

事業計画	介護、障がい等の総合的な福祉相談の場として、情報の提供や施設紹介などを行う。	達成度	当法人の高齢者、障がい者施設事業の広報紙等を陳列して情報提供に努めた。 川西地域包括支援センターと連携し、地域の高齢者からの相談に対応した。
------	--	-----	---

### 2 活動状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・来所者は多くいたが、介護の申請や総合事業、介護サービス、生活保護など地域包括支援センターでの対応が大部分だった。</li> <li>・川西地域包括支援センターの行なうオレンジカフェ『ひなたぼっこ』へ協力し、認知症介護に関する相談に対応した。</li> </ul>
---